

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第96期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、中期事業計画「R2」で柱に掲げた「主力ビジネスの利益ある成長の加速」、「新規ビジネスの始動と開拓」に向けた取り組みの達成に向け、技術VEによるコスト削減や徹底的な経費削減を推し進めることで外部環境の悪化などの不測の事態に対応できるレジリエンスを強化するとともに、新規ビジネスの獲得、深耕開拓に努めました。電池事業では、高い耐久性と高容量化を実現したニッケル水素電池の電源バックアップ市場向けのサンプル出荷や、低温放電性能を向上させた当該電池の車載アクセサリ市場向けの量産出荷を行ないました。また、アルカリ乾電池では古本新喜劇とのコラボレーションによる防災備蓄啓発のデザインを施した製品の発売など販売促進に努め、リチウム電池においては、累計出荷数15億個を達成しました。電子事業では世界最小クラスの「Bluetooth® Low Energyモジュール」の電波放射性能を向上させた新製品を開発し、サンプル出荷を開始しました。

当中間期の経営成績につきましては、売上高は電子事業でスイッチング電源やトナーの減少があったものの、ニッケル水素電池、設備関連ビジネス、アルカリ乾電池の増加、前期に出資持分を取得したBAOTOU FDK CO., LTD.の売上高が加わったことに加えて、円安による売上増により、前年同期に比べ24億13百万円増の326億59百万円となりました。営業利益は電池事業での売上増と原材料価格の変動による利益貢献に加え円安効果もあり、前年同期に比べ8億62百万円増の7億85百万円となりました。経常利益は1億5百万円の為替差損などを営業外費用として計上したものの、前年同期に比べ4億95百万円増の6億31百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ3億88百万円増の3億52百万円となり、いずれも期初の想定より良化しました。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降につきましては、中期事業計画「R2」で掲げた目標達成のため、上期から継続して売上拡大および更なる原価低減を行ない、様々な外部環境変化へのレジリエンスを強化することで、事業基盤を強固にするとともに成長路線への転換を加速させてまいります。また、高付加価値・サステナビリティを訴求した環境負荷の低い製品開発の強化、DXを活用した様々な業務改善に努めてまいります。次世代電池の開発についてはビジネスプランの策定をさらに加速し、ニッケル亜鉛電池については上期に引き続き特性改善に努め、お客様へのサンプル出荷を拡大してまいります。また、もう一つの柱である「認め合い・高め合う文化の醸成」に努めることで企業文化・風土の変革に繋げ、経営品質の向上に努めてまいります。そして「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーに満足いただく「And Game」の実現のため、企業価値の向上に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

※Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です。



代表取締役社長

長野 良

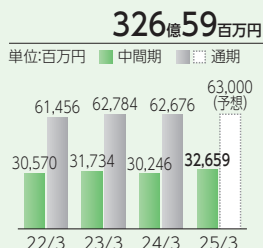
Profile プロフィール

1961年 9月7日生まれ
1985年 4月 富士通(株)入社
2019年 4月 当社執行役員常務
2019年 6月 当社代表取締役社長

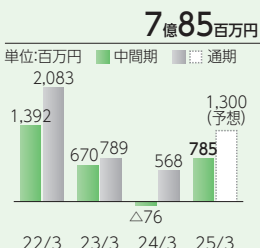
2024年12月

連結決算ハイライト

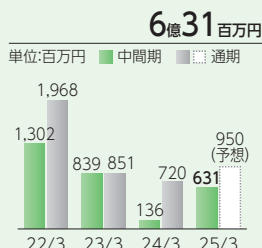
売上高



営業利益
又は営業損失(△)



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は
親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

